

I 第30週の発生動向 (2013/7/22~2013/7/28)

- 手足口病については、八戸保健所管内で新たに**警報**が発令されました。上十三保健所管内では第28週から**警報**が継続しており、他の保健所管内でも報告が見られ、今後の動向に注意が必要です。
- ヘルパンギーナについては、患者報告数が前週の38人から91人に増加し、特に弘前、上十三、むつ保健所管内で多くなっています。

II 第30週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科	(85)														0				
小児科	(74)				9	1.0			1	0.2			10	0.2	1				
(75)	咽頭結膜熱	1	0.1	1	0.1			1	0.2			3	0.1	-3			1	0.1	
(76)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.3			26	2.9	1	0.2			34	0.8	2			2	0.3	
(77)	感染性胃腸炎	18	2.3	5	0.6	4	0.4	10	2.0	1	0.2	5	1.3	43	1.0	0	18	2.3	
(78)	水痘	8	1.0	2	0.2	3	0.3	1	0.2	2	0.3	6	1.5	22	0.5	3	8	1.0	
(79)	手足口病	17	2.1	2	0.2	54	6.0	1	0.2	50	8.3	3	0.8	127	3.1	58	17	2.1	
(80)	伝染性紅斑			4	0.4	2	0.2					6	0.1	6					
(81)	突発性発しん	3	0.4	3	0.3	4	0.4			8	1.3	6	1.5	24	0.6	3	3	0.4	
(82)	百日咳													0					
(83)	ヘルパンギーナ	8	1.0	32	3.6	8	0.9			27	4.5	16	4.0	91	2.2	53	8	1.0	
(84)	流行性耳下腺炎			2	0.2			2	0.4	1	0.2	12	3.0	17	0.4	3			
眼科	(86)	急性出血性結膜炎													-1				
(87)	流行性角結膜炎	2	1.0			1	0.5	1	1.0			4	0.4	-4			2	1.0	
基幹	(92)	クラミジア肺炎										1	1.0	1	0.2	1			
(93)	細菌性髄膜炎													0					
(95)	マイコプラズマ肺炎			2	2.0	1	1.0					3	3.0	6	1.0	-1			
(96)	無菌性髄膜炎													0					

は警報 は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (10) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、八戸1人、五所川原1人、上十三1人(2013年計:184人)
- (17) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前1人、八戸1人(2013年計:31人)
- (39) つつが虫病(四類全数把握疾患)：八戸1人(2013年計:16人)
- (59) レジオネラ症(四類全数把握疾患)：八戸1人(2013年計:2人)

IV 病原体検出情報 ()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者1名(咽頭ぬぐい液、6/21)・・・ライノウイルス(HRV)・パラインフルエンザウイルス3型：八戸(1)
- ・下気道炎患者3名(鼻汁、喀痰、6/10~6/24)・・・ヒトボカウイルス・HRV・RSウイルス：弘前(1)、RSウイルス・ヒトメタニューモウイルス：弘前(1)、RSウイルス：八戸(1)
- ・無菌性髄膜炎患者1名(咽頭ぬぐい液、6/13)・・・HHV7：弘前(1)

感染症の窓

重症熱性血小板減少症候群(四類全数把握疾患)

SFTS (Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome: SFTS) は、ブニヤウイルス科フレボウイルス属の SFTS ウイルスによるダニ媒介性感染症です。症状は、6日~2週間の潜伏期後に、多くは発熱、消化器症状(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)を呈し、その他に頭痛、筋肉痛、意識障害や失語などの神経症状、リンパ節腫脹、皮下出血や下血などの出血症状などを呈します。致死率は6~30%と報告されています。

感染経路はマダニを介したものが大半ですが、血液等の患者体液との接触による感染も報告されています。

2013年に発症した患者は、7月22日現在で19人、性別は男性7人、女性12人で、年齢は40~90代で、60~70代で多くなっています。5月の発症例が多く、西日本の11県(2012年以前の発症例を報告している佐賀県を除く)で報告されています(図)。

予防のため、山林、草地に立ち入る時は、長袖・長ズボンを着用し、帰宅後は入浴してマダニに咬刺されていないか確認し、2週間以内に上記症状が現れた場合は、早めに医療機関を受診することが重要です。(参考：国立感染研ホームページ)



図 SFTS発症例の発生地域(2013年1月1日以降発症)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 2013年第16週～第30週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
16	H25.4.15 ~ H25.4.21		クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
17	H25.4.22 ~ H25.4.28	後天性免疫不全症候群1人	急性脳炎1人			風しん1人	
18	H25.4.29 ~ H25.5.5			劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
19	H25.5.6 ~ H25.5.12						
20	H25.5.13 ~ H25.5.19	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人			
21	H25.5.20 ~ H25.5.26	アメーバ赤痢1人		つつが虫病1人		つつが虫病2人 風しん1人	
22	H25.5.27 ~ H25.6.2	侵襲性肺炎球菌感染症1人	バンコマイン耐性腸球菌感染症1人	つつが虫病1人 アメーバ赤痢1人 風しん1人	つつが虫病1人 風しん1人		
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感染症1人
28	H25.7.8 ~ H25.7.14	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	つつが虫病1人					
30	H25.7.22 ~ H25.7.28		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人 レジオネラ症1人			

VI 結核(二類全数把握疾患)

2013年第23週～第30週

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
23	H25.6.3 ~ H25.6.9					1	
24	H25.6.10 ~ H25.6.16	3	2	2	2		1
25	H25.6.17 ~ H25.6.23	1		1		1	1
26	H25.6.24 ~ H25.6.30	2	2	2		2	
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	3	1	3			
28	H25.7.8 ~ H25.7.14		1	1			2
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	1	1	1	1	1	
30	H25.7.22 ~ H25.7.28	1		1	1	1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2013年第1週～第28週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクシジオテス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア7	ライム病	類鼻疽
累積報告数	13726	1	75	1039	30	31	69	86	10	6	3	3	23	8	128	98	52	1	23	4	2
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎菌性髄膜炎	
累積報告数	457	5	542	141	222	2	102	120	817	38	51	11	451	8	594	66	33	12832	160	2	

青森県

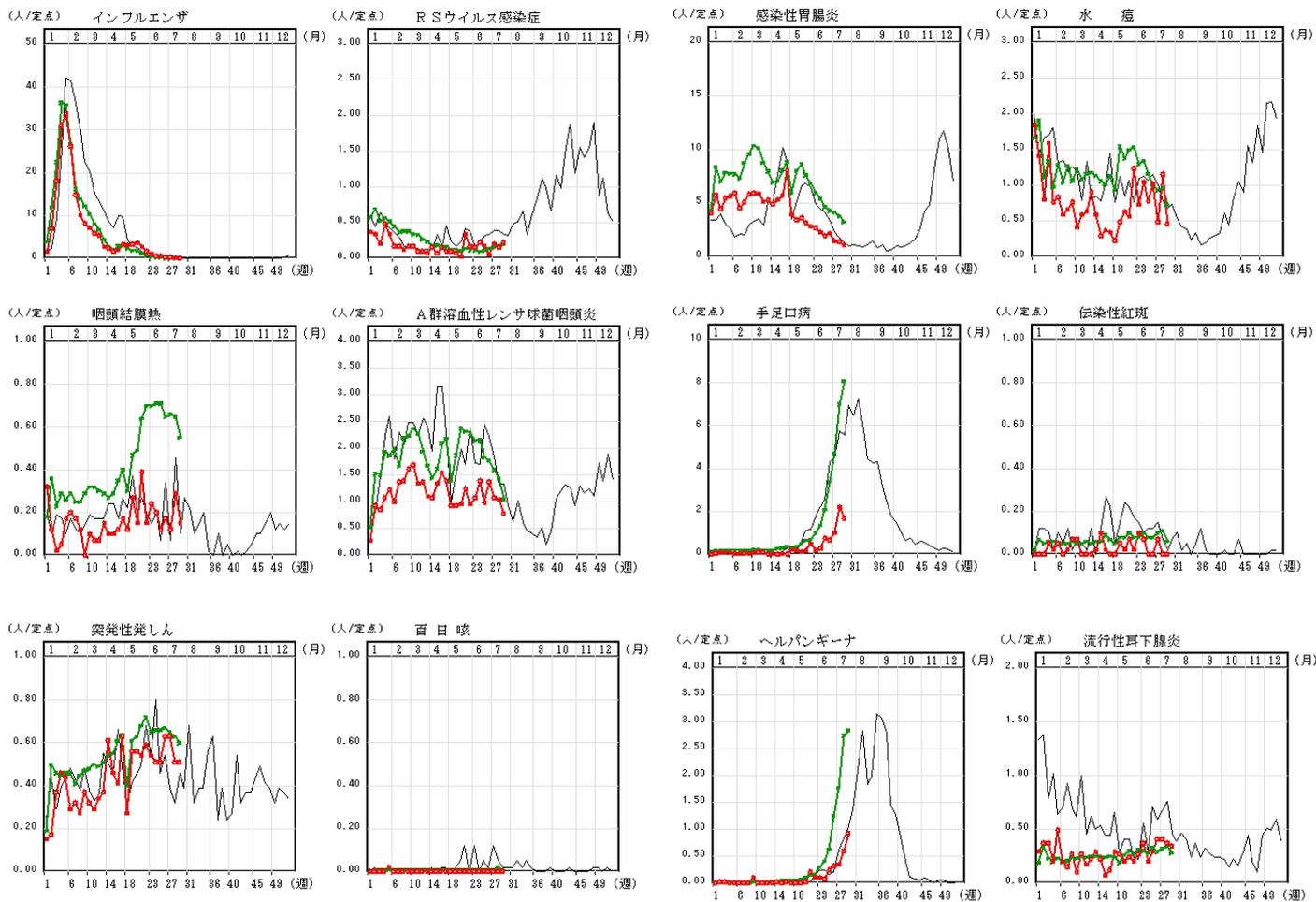
(2013年第1週～7月29日17時00分累計)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん		
累積報告数	184	31	2	16	2	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	8

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

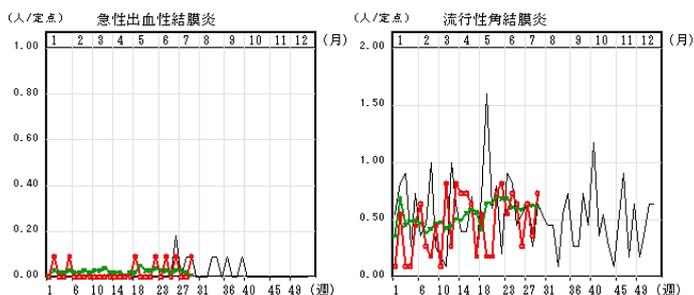
2013年第29週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、——は2012年青森県、 ×—×は2013年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第29週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第29週

